

# 持続的取組を進めるための 体制・役割分担

---

# 持続的取組を進めるための体制・役割分担

## H29試行結果とH30試行の方向性

### ○民間事業者との連携

- ・輸送サービスや荷物輸送サービス、緊急サポート・レンタサイクルサービス体制の充実など、移動のサポートを望む声が多い※1 ※1:サイクリストへのアンケート調査結果(資料4参照)
- ⇒サイクリストにとって広大な北海道を快適に移動するには、鉄道や民間事業者等と連携し、受入環境の向上に努めることが重要

### ○自治体、関係機関との連携

- ・H29モデルルート試行では、道路や河川の管理者である自治体と連携して取組実施
- ⇒サイクリストにとって魅力あるサイクル環境を提供するには、引き続き道路や河川の管理者である自治体との連携や、自治体等が推進する地域ルートと基幹ルートの連携を進めることが重要
- ⇒北海道自転車条例の動向や他の観光施策や地域活性化施策との連携を進めるため、関係機関との連携を一層強化することが重要

### ○モデルルート間(活動団体相互)の連携

- ・他のモデルルートの取組みについて情報提供を望む声が多い※2 ※2:活動団体へのヒアリング結果
- ⇒フォーラム等を活用し各モデルルートでの取組内容を共有することが重要

### ○ロゴマーク(ブランド)の統一

- ・H29モデルルート試行では、ロゴマークを設定するには至らなかった
- ⇒全道では、先行的にサイクルツーリズムを展開している地域、団体もあるが、今後、北海道全域でサイクルツーリズムを推進するには、統一したロゴマークを策定することが有効

### ○利用実態調査の継続実施 (「参考資料5」参照)

- ・H29観光統計やWebアンケートによるサイクリストの利用実態調査を継続して行うことが重要なほか、サイクリストのニーズ調査を継続的に行うことが重要